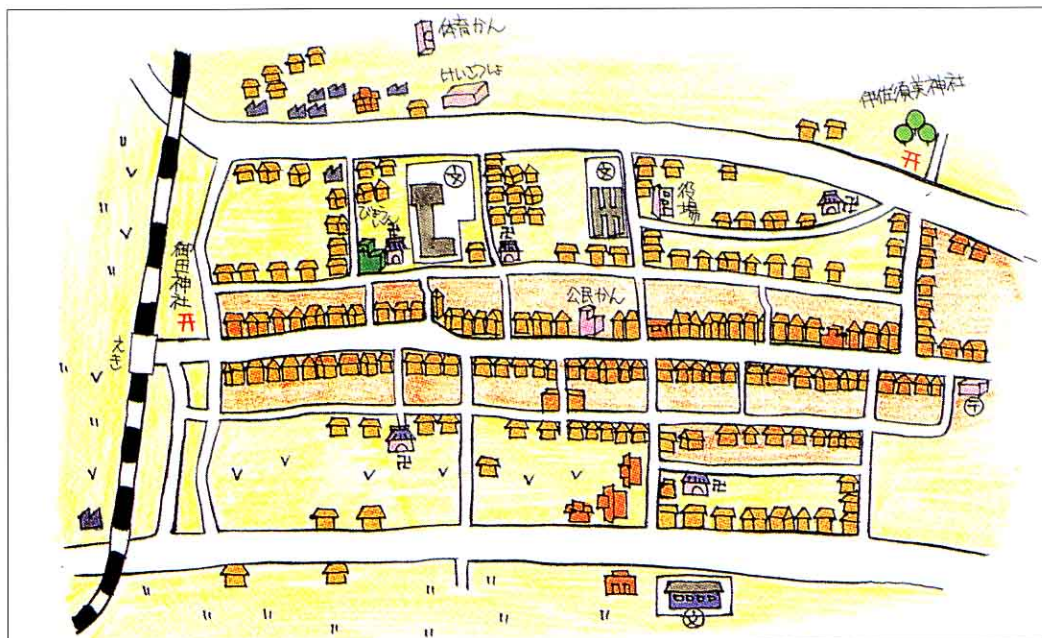
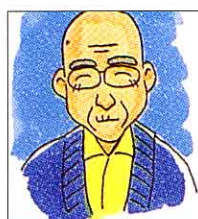


いまの町のようす



あき子さんは、おじいさんにおかしの町のようすを聞いてきました。



あき子さんのおじいさんのお話

わたしが子どものころにはじめて鉄道ができて、汽車が走るようになったんだよ。そのときは、町をあげておいわいしてね。けむりをもくもくはいて、いさましく走る汽車を見に、わざわざ駅まで出かけて行ったもんだよ。

そのうちに、せんそうが始まって、この町からもたくさんの人がせんそうに行ってなあ。男の人が少なくなってしまったんだ。

せんそうが終わって、高田町もまわりの村といっしょになって、会津高田町が生まれたんだよ。バスが通るようになったり、自動車じどうがふえたりして、町もずいぶんかわって来たよ。